

秋の風情を楽しみながら散歩しています。



デイ・サービス利用状況 (定期利用者数)

月	火	水	木	金	土	日
8名	7名	8名	8名	7名	6名	6名



夕涼みしながらのゲーム



精神障害者ホームヘルパー養成講習会に参加してきましたよ～。(3名)

●●● 講義は全員一緒。実習は1施設に2名ずつ振り分けられていました。●●●

平成15年8月16日(土) 津島市の保健所にて講義・・・3名
 平成15年9月 2日(火) 『好生館病院』で実習・・・1名、9日(火) 『好生館病院』で実習・・・1名
 9月29日(月) 海南病院デイケアセンター『ネバーランド』で実習・・・1名

主な内容 : 「精神障害者に関する基礎知識」「精神障害者に関する行政施策」「精神障害者に関するホームヘルプサービスについて」「精神障害者に関するサービスについて」

受講した3名の感想です。

大人になるにつれ社会に適応出来なくなり精神的に不安定になるのでは？と私自身受け止めた。社会に適応出来なくなると書いたが、人間は大人になるにつれ考えを押しさえなくてはいけない事もできる。その事を考えると、この社会がこの様な病気を作り、私達人間が自ら「精神障害」という病気を作り、苦しめているのかもしれないと感じた。(T・Y)

講義は、専門的な言葉が随所に出てきて説明はあるものの理解できないこともありましたが、グループでの事例検討会では、同じ立場の人(ヘルパー)の考え方や利用者に対する接し方が分かり考えさせられました。実習先では、関わってからの期間が長い方が多く、比較的軽い方が多いようですが、それだけ治療に時間のかかるものだと実感。この病気は、本人が一番辛いと思いますが、医師を中心に家族やその他周囲が協力して、長い目で見て治療する事が大切だと思いました。(M・N)

今回の講義で精神病(精神障害)の症状や治療について知る事ができた。特に統合失調症などは様々な症状があることを知った。又、行政の面からサポートできる事業が沢山ある事を知り、その情報を伝えることも私達の仕事かも・・・と感じた。実習では、時間に拘束されず、比較的自由的な環境に最初戸惑ってしまった。基本的な生活(行動)の部分をサポートする介護とは違い、気配りや目配りが言葉や行動に集中しているようだった。明らかに病気と分かる方とそうでない方もおり、目に見えないケアの難しさを感じた。(A・M)

情報掲示板 ☆☆☆ 身近な話をお届けします ☆☆☆

●高齢者の足のケア

高齢者の足に頻出するトラブルでまず目立つのが巻き爪。爪の端が丸まって指の肉に食い込んでしまう状態で、先のとがった靴を履いたり、爪の切り方が正しくなかったりすると起こります。巨爪症は爪に角質がたまって伸びるのを妨げられ、爪が厚く硬くなってしまふ症状。爪の根元から白癬菌(はくせんきん)が入り込む感染症の1種、爪白癬も。爪の表面が白く濁るのが特徴です。

爪以外では、皮膚の表面にある角層が厚く硬くなるウオノメやタコ、足底角化症も多い。外反母趾など足の変形も、骨の弱い高齢者に多い病気です。水虫なども軽視されがちですが、症状の悪化や細菌感染の併発で、思わぬ重病に発展する可能性もあります。

そのためにも入浴はかかせません。石鹸をよく泡立てて足の裏から、かかとや土踏まずまで丁寧に洗います。この際、毛先の柔らかな歯ブラシで洗うと血行も良くなります。入浴が難しい高齢者の場合は足浴でも良いですね。湯上りは足の爪も柔らかくなり、爪を切るのに都合が良いです。

疾患の多くは、爪と皮膚の間などにたまった「角質」という老廃物が引き起こします。足を清潔に保ち、保湿を心掛けることが大切です。

そして、トラブルが起きたらまずは皮膚科の医師に相談し、正しい指示のもとケアしましょう。

●潤いを保つのが正しい傷のケア

ケガや火傷の手当てといえば、傷口を消毒し、ガーゼでおおって早く乾燥させ、かさぶたをつくって治すというのが従来の一般的な方法でした。ところが、消毒せずに水で洗うだけ、あとは傷口をおおって潤いを保ちながら治す治療法(=湿潤療法、モイストヒーリング)のほうが、早く、きれいに治るとのこと。

湿潤療法は市販の救急絆創膏を使って、家庭でも実践できるそうです。

- ①まず傷を見きわめ、家庭で手当てできるものならば・・・。
- ②水道水で傷口をよく洗い異物や細菌を流す。
- ③清潔なタオルやコットン、ティッシュペーパーなどで傷を押さえて止血する。
- ④救急絆創膏を貼る。

そのまま普通に生活し、汚れたり、外から入った水によって救急絆創膏の中がぬれてしまったら張り替えるようにすれば十分だそうです。一度お試しください。

ナイス家の畑

茹でたての枝豆食べるとよ。(笑)



スタッフの独り言・・・

最近、新聞などで色々な事件・事故などに巻き込まれた方の年齢を見て、自分の父母の年齢と重ねてしまいます。今までは、「親は元気でいつまでも居るものだ!!」と頼もしく思っていました。年齢を重ねると、いとおしく思うのは私だけでしょうか? T・Y



編集後記

この不景気の中、秋の味覚泥棒が続出しています。冷夏で不作といわれている米さえも・・・脱穀前ならいざ知らず、田んぼから直接刈り取っていくという強ものまでいるというから驚きです。ついこの間も、近く岐阜県でこの米泥棒が・・・と思ったら、農協の人が間違えて刈ってしまったとか。被害額10数万円と同種のお米を返し、謝罪しにいったそうです。(まぎらわしい!!) でも、なんであれ手塩にかけたものを盗むというのは許せませんね!!